

## わきがの一時的な治療なら、ボトックス注射という方法もある。

わきが対策の1つに「ボトックス注射」があります。

ボトックス注射とは、ボツリヌス菌が作る毒素によって、神経伝達物質の放出を抑える治療法です。

神経伝達物質の放出が抑えられると、その部分の皮膚の活動も、一時的に抑えられます。

毒素とはいえ、無毒化された毒素ですから、体への悪影響はありません。

たとえば、眉間に注射すれば、眉間に力が入らなくなるので、しわをなくす効果があります。

顎やフェイスラインに注射すると、力が入らなくなることで筋力が衰え、小顔効果が得られます。

ボトックス注射は、美容目的で使われることが多いのですが、わきが体質にも効果があります。

脇の下に注射すると、アポクリン腺の活動が抑えられ、脇の汗が抑えられるのです。

においの7割を抑えられると言われていています。

ただし、効果は一時的です。

持続効果は、およそ6カ月です。

たとえば、汗をかきやすい夏の前に注射すれば、夏の数カ月間は、汗とにおいから解放されます。

注射ですから、一瞬で終わります。

手術に比べると、処置時間が短く、費用も安く、跡も残らない特徴があります。



一時的な効果も、メリットだと考えることもできるのではないのでしょうか。

「とにかく手術が苦手」

「できるだけ費用はかけたくない」

「跡を残したくない」

手術の苦手な人が、手間と費用を抑えるなら、選択の価値は大いにあるでしょう。

わきがのにおいを消す方法 その29

**手術の苦手な人は、ボトックス注射を検討する。**